

経営比較分析表（令和元年度決算）

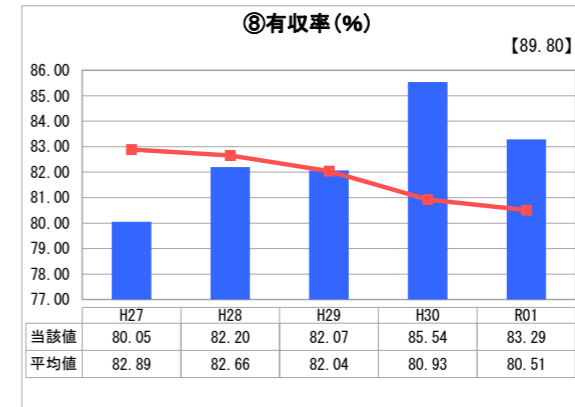
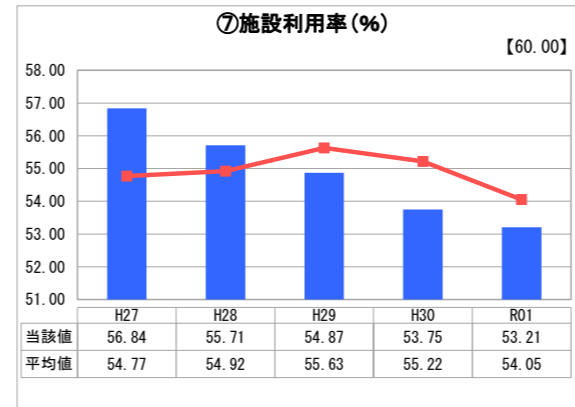
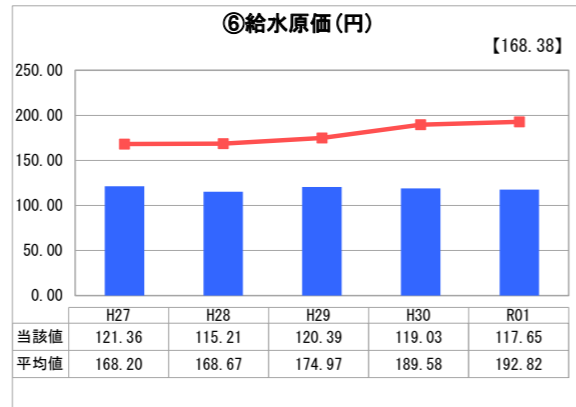
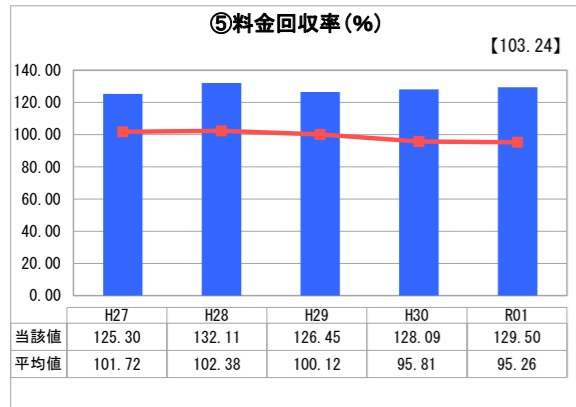
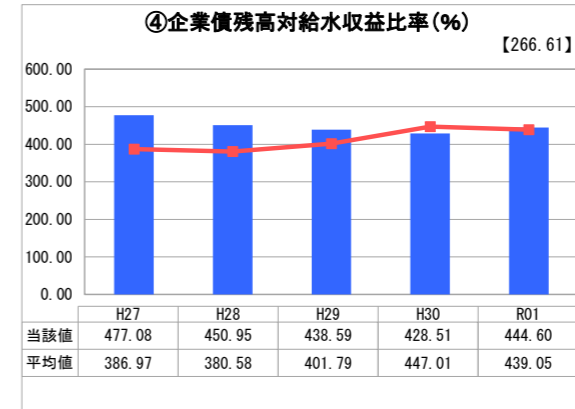
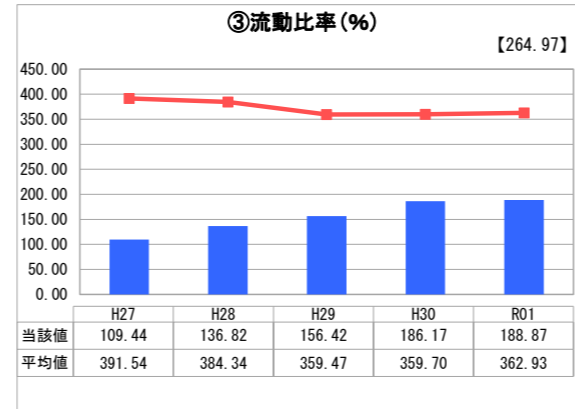
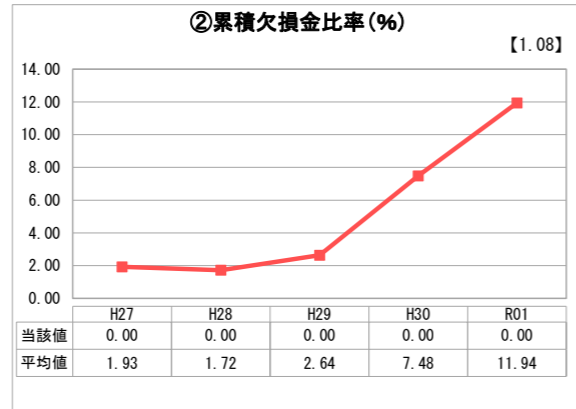
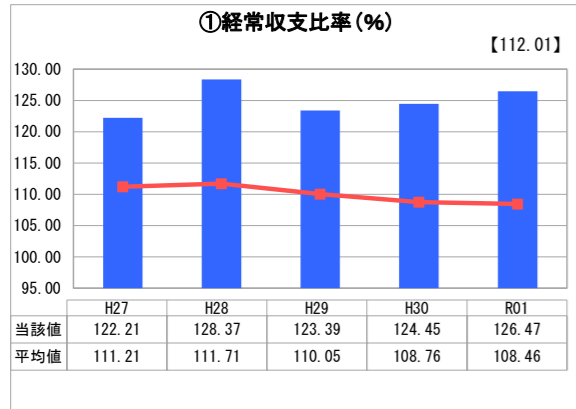
鳥取県 北栄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	66.25	99.31	3,025	

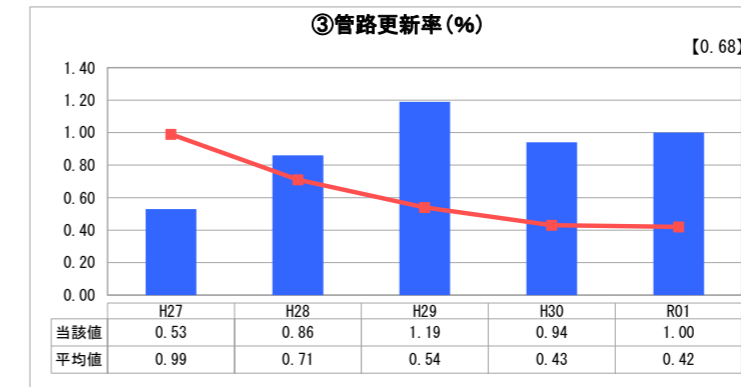
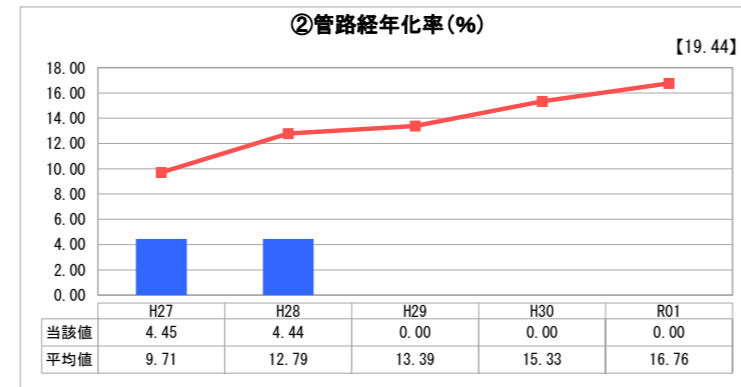
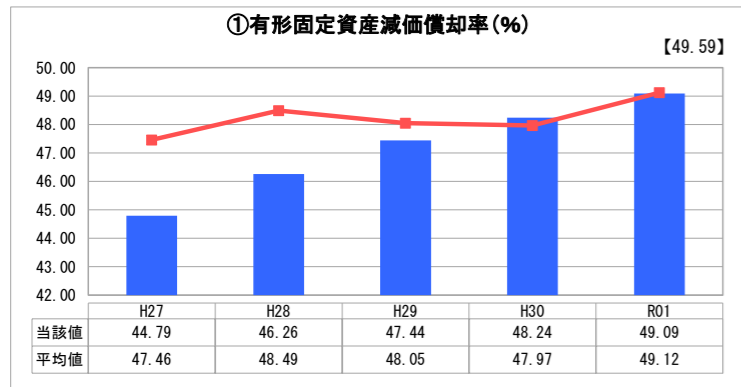
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,944	56.94	262.45
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,751	56.94	259.06

グラフ凡例		
■	当該団体値（当該値）	
—	類似団体平均値（平均値）	
【	令和元年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・本町の水道事業は、「①経常収支比率」と「⑤料金回収率」の数値より、給水収益等で給水に係る費用が十分に賄えており、類似団体の平均値と比較しても高い数値であり、健全な経営ができています。
- ・「②累積欠損金比率」も発生しておらず、経営上問題はない。
- ・「③流動比率」で短期的な債務に対する支払能力はある(100%以上)と表示されており、現金については、年々増加傾向にある。
- ・「④企業債残高対給水収益比率」は、近年同水準で推移しており、企業債を一定水準になるよう抑えている。
- ・「⑥給水原価」は、全国平均と類似団体より低い状態にある。ただし、今後の設備更新状況で流動的であり、投資の効率化・維持管理費等の削減といった部分において検討が必要である。
- ・「⑦施設利用率」は年々減少傾向にあり、人口減少に伴うものと考えられる。
- ・「⑧有収率」は高い状況にあり、施設稼働が収益に反映され、良好な状況である。

2. 老朽化の状況について

- ・「①有形固定資産減価償却率」は、年々増加傾向にあり、資産の老朽化割合が顕著に見て取れる。将来の施設更新に向けて財源確保や施設の計画的な更新に取り組んでいるが、より実効性の高いものとして、ストックマネジメント計画の策定を検討している。

全体総括

- ・本町の水道事業は、現在のところ経営上の問題はなく、健全であると判断できる。
- ・ただし、人口減少の影響による収益の低下、施設等の老朽化に伴う設備更新及び維持管理費等の増加が見込まれ、厳しい状況が予想される。
- ・将来にわたって安心、安全な水を供給するために、施設の適正規模や広域化検討による収益の確保等、引き続き効率的な経営を目指し検討を実施していく。